

## IEC/TC108/HBSDT会議報告

IEC/TC108/HBSDT会議が2023年10月18日～20日に開催されました。当初はカイロ（エジプト）でIEC総会の一部として開催される予定でしたが、隣国の情勢が不安定となったことから、対面での参加予定であった多くの方がWebでの参加に切り替えたことにより、すべての会議がWebでの開催となりました。Web会議であることから時差の関係もあり、開催は1日4時間と短くなりましたが、50名以上の参加があり、活発な審議が行われましたので、その報告をいたします。また、予定していた、全ての議題の審議が終了せず2024年1月に追加の会議を行う予定としています。

## 【IEC 62368-1第4版に関して】

IEC 62368-1第4版は2023年5月に発行されました。しかしながら、FDIS（最終国際規格案）の審議結果が一部反映されないまま発行されてしまったため、多くの編集上の修正が必要となっていることが指摘されました。今後、IEC事務局のテクニカルオフィサと相談して修正方法を検討することとなっています。

## 【IEC/TC108が所管する規格の解釈に関して】

IEC/TC108では所管する規格の解釈に関し、各国の国内委員会から寄せられた質問に関して審議しています。IEC 62368-1第3版が多くの国で採用されだしていることもあり、審議事項が多かったですので、その一部を報告します。

DC 主電源の許容誤差を  $+20/-15\%$  としているのは鉛蓄電池等の許容差が考慮されているものと考えられるが、現在ではDC/DCコンバータを用いる技術があり、この技術を用いている場合の考え方についての質問がありました。この質問は規格の解釈ではなく、規格の改定として審議すべきとの結論になりました。

ACアダプタ等の外部電源の出力について、IEC62368-1の6.6項に記載のある電力制限はどのような場合に適用するのかとの質問が複数ありました。ACアダプタは、PCへの専用電源としてしているもの、USB端子から出力するものなどがあることから、複数の質問を一つにまとめて審議することとしました。また、通信ポートを介して電力共有する場合の考えの一部についてはアドホックグループを設け審議することとしました。

IEC62368-1第4版の解釈として、（電池の）セルのエンクロージャが防火用エンクロージャの要件を満たせば防火用エンクロージャとして扱えるかとの質問がありました。第3版の解釈を変えるものではなく、そのように考えるとの確認はされました。この件に関してTC108としての文書を発行できるように検討することとしています。

イヤホンなどのリスニングデバイスで

接続する際、Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)のバージョンによっては個人用音楽プレーヤーからのデジタル出力が異なる状況となっています。このため、そのデジタル出力の限度値を適用することが出来なくなっています。この件を検討するアドホックグループの審議結果が採用され、第3版及び第4版ではデジタル出力の限度値の一部を適用しなくても良いとしました。

## 【IEC 62368-1の改正審議】

TC108ではIEC 62368-1第4版の改正作業に取り掛かっています。今回の会議では多くの改定提案等があり、その一部を報告します。

- 単一パルスの電圧・電流の制限値を適用する際のパルス幅の決め方について
- 30kHzを超える周波数における固体絶縁への要求事項の明確化
- 個人用音楽プレーヤーに対する音圧制限の手法等の変更
- 産業用途で使用する機器に使用する機器用ケーブルの温度制限に関する事項
- プランジャなどの電気機械部品に対する、試験の規定及び防火エンクロージャの扱いについて
- 試験指の全体が通過するような大きな開口がある場合の扱いについて

## 【今後の予定】

今回の会議で審議できなかった事項については2024年1月にWeb会議を行い審議する予定としています。

その後の会議として、2024年4月頃に対面会議（場所未定）を行い、10月にはエジンバラ（英国）で開催が予定されているIEC総会の一部として、開催する予定としています。

## 【お問い合わせ先】

（一財）電気安全環境研究所  
電気製品安全センター  
E-mail : center@jet.or.jp